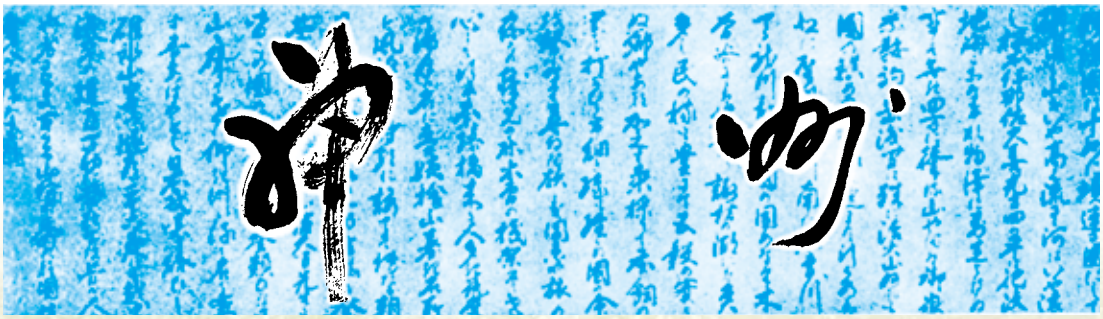


長野県神社庁報　第130号
令和２年１月１日発行：長野県神社庁 庁報発行委員会・庁報編集委員会
（長野市箱清水1-6-1　電話026-232-3355　FAX026-233-2720）

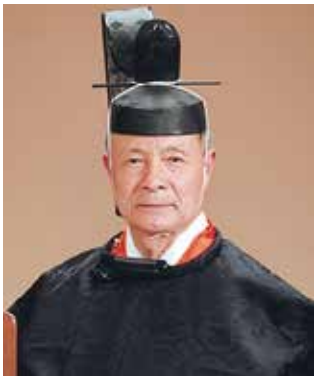
奉祝 大嘗祭

―国やすかれ、民やすかれの祈り―

純白の御祭服を召され悠紀殿供饌の儀に臨まれる天皇陛下（11月14日夕刻）写真提供：宮内庁

年頭の辞

長野県神社庁　庁長　宇治橋　淳



令和二年庚子・閏年の新春を言寿ぎ御挨拶申し上げます。

昨年、上皇陛下ご譲位なされ、第一二六代新帝陛下が皇位を継承され、令和の御代となりました。皇位継承に伴う践祚の式・即位礼・大嘗祭など御代替りの諸事も厳かに修められ、令和二年の正月を迎えることが出来、天照大御神を始め天神地祇に感謝を白します。

国安かれ、民安かれと常に国民に寄り添われ、日本の国の安泰と世界の平和をお祈り下されます天皇さまの尊いおつとめを仰ぎつつ、古来からの伝承伝統文化や慣習を中心に守り続ける神社神道の役割を神職・総代・関係者と共に引継いでいくことが大切と念じております。

長野県神社界を築き支えて来られた先人達の想いを受け継ぎ、新庁舎・氏子会館建設に向け皆様とともに努めて参りますので、一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

今年が災害の無い平穏な佳き年でありますよう心から祈念申し上げます。

年頭の御挨拶

長野県神社総代会　会長　藤村　吉彦

新年を迎えて県内各神社に於かれましては益々御隆昌のことと御慶び申し上げます。

天皇陛下におかれましては即位礼・大嘗祭など御即位に関する一連の行事を恙無く修められましたこと、国民として誠に慶ばしく、心よりお祝い申し上げます。

長野県においても昨年十一月二十日に、まつもと市民芸術館にて「天皇陛下御即位奉祝長野県民大会」を開催し、参加者一同揃って御即位をお祝い申し上げました。

さて、昨年の台風十九号は県内神社に大きな被害を残しました。

特に千曲川流域では越水や堤防の決壊が発生し、床上浸水や御社殿が流失してしまった神社など複数御座います。

被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げ、一日も早く元の生活に戻れますよう神社庁と共に復興のため力を尽くして参る所存です。

新元号「令和」となって初めての新年を迎えます、神様の御加護の下、皆様にとりまして良き年となりますようお祈り申し上げ年頭の御挨拶と致します。

表紙について

「大嘗祭」

大嘗祭は、天皇陛下御即位後初めて行う新穀感謝のお祭りであり御一代に一度の最も重要な祭祀です。

今上陛下におかれましても歴代天皇と変わらぬ御作法にて新たに造営されました「大嘗宮」において、昨年十一月十四日夕刻より翌十五日未明まで、その年の新穀を天照大御神をはじめとする我が国の全ての神々へ御自身で直接お供えになり、また、共に召し上がられ、私達国民の平和と繁栄を一心に御祈念されました。

主基殿供饌の儀　提供：宮内庁

目次

庁長・会長年頭の辞　2
目次・日誌抄　3
特集　御大礼　7
「高御座と御帳台」
「御即位奉祝国民祭典」
「御即位奉祝長野県民大会」
台風十九号による被害について　12
靖國神社参拝旅行　15
神宮大麻頒布表彰・寄附者顕彰　17
辞令・新任神職の横顔
ご造営フォトニュース
平成三十年度神社庁歳入歳出決算書　19
平成三十年度災害救助慰藉決算書
年賀広告　20
第二十五回子供参宮団募集　24

日誌抄

（令和元年七月～十一月）

七月

一日　月次祭
四日　監査会
四日　庁舎氏子会館建設委員会
　　庶務並募財特別委員会
五日　辞令伝達式

五日　総代会役員会
八～九日　雅楽研修会　於　深志神社
十二日　理事会

十二日　人事諮問委員会
十六日　支部長懇談会
　　於　立山プリンスホテル
十六日　教化部青少年対策委員会
十八日　祭祀舞研修会
十八日　庁報編集委員会
十九日　祭祀舞研修会
十九日　教化部青少年対策推進委員会
十九日　長野県教育関係神職協議会役員会
二一日　兼職祭式研修会
二一～二二日　初任神職研修会（前期）
二六日　第九十五回神社庁定例協議員会
二九～三十日　第十九回靖國神社参拝旅行

八月

一日　月次祭
二日　神宮大麻暦頒布委員会
六日　教化部調査委員会
　　於　深志神社
六～八日　浦安の舞研修会
九日　神政連長野県本部役員会
二十日　庁舎氏子会館建設委員会
二二～二三日　神道行法錬成研修会　於　木曽

二二日　長野県教育関係神職協議会総会
二二日　上皇上皇后両陛下御奉迎
　　於　軽井沢

二六日　総代会支会長会
　　於　ホテルメトロポリタン長野
二七日　教化部祭祀委員会
二八～二九日　初任神職研修会（後期）
三十日　上皇上皇后両陛下御奉送
　　於　軽井沢

九月

一日　月次祭
二～六日　東海地区中堅神職研修会
　　（後期）於　神宮会館
四日　第五十五回全国神社総代会大会
　　於　石川県金沢市
五日　東海地区中堅神職研修精算会
　　並びに参事会　於　神宮会館
十二日　神殿例祭

十六日　神宮大宮司御招宴
十七日　神宮大麻暦頒布始祭
十七日　神宮大麻暦頒布秋季推進会議
十八日　神社庁長会
十八日　臨時班幣式
十八日　庁報編集委員会
十九日　神宮大麻頒布委員会
三十日　公開憲法フォーラムＩＮ愛知
於　名古屋コンベンションホール

十月

一日　月次祭
三日　教化部教化委員会
四日　神社庁神宮大麻暦頒布始奉告祭

四日　臨時班幣式
七～八日　東海五県神社庁庁長参事会
於　ホテルブエナビスタ

九日　教化部祭祀委員会
十五日　第四十八回【初穂曳】
十六日　理事会
十六日　庁舎氏子会館建設委員会
二二日　即位礼当日祭
二三日　教化部青少年対策推進委員会
二四日　神社本庁定例評議委員会
二八日　雅楽研修会

十一月

一日　月次祭
六日　全国教育関係神職協議会
東海ブロック研修会
於　愛知縣護國神社　桜華会館
六日　雅楽研修会
八日　辞令伝達式

八日　規程審議委員会
九日　天皇陛下御即位をお祝いする
国民祭典「祝賀式典」
於　皇居前広場

提供：奉祝委員会

十一日　神社本庁総長台風被害現地視察

十二日　臨時大祓
十四日　大嘗祭当日祭
二十日　天皇陛下御即位奉祝長野県民大会
於　まつもと市民芸術館

二一日　監査会
二三日　天皇皇后両陛下
神宮に親謁の儀にあたり奉迎送
於　内宮
二五日　庁報編集委員会
二五～二六日
教養研修会　於　大北支部管内
二八～二九日
東海五県紅葉会　当番　長野県
於　千曲市　清風園

二九日　教化部調査委員会　於　松本

庁舎建設事業について

庁舎氏子会館建設委員長　宇治橋　淳

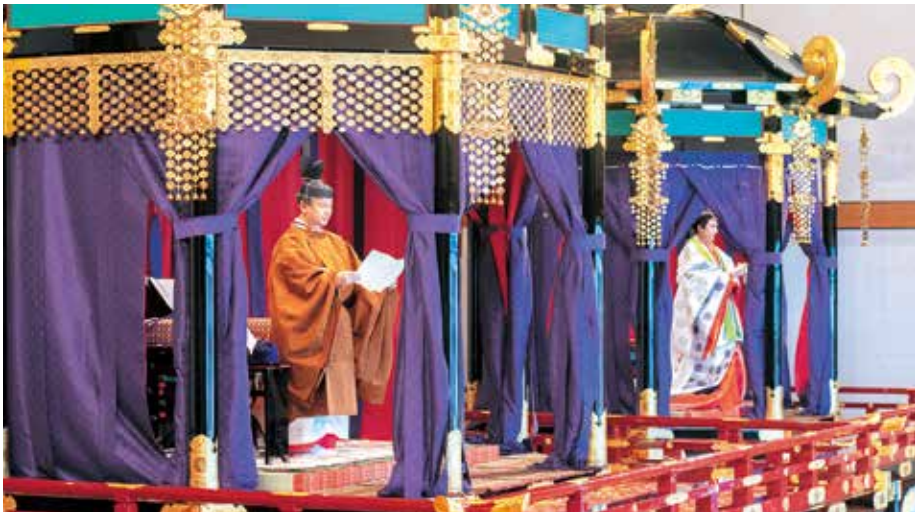
平成二十八年に発議しました庁舎氏子会館建設事業進捗状況については、昨年の平成三十一年三月の定例協議員会にて建設地を長野市城山地区に決定してより以降、現在も長野市と協議を重ねており、私達の事情も深く御理解頂きながら順調に協議を継続しております。

建物設計については、昨年からは設計の専門家にも会議に御同席頂きながら建設委員会にて協議を続けており、およそ現在の庁舎機能を維持しつつ、よりコンパクトな設計を目標として定め現在も非常に活発な議論が交わされております。

募財についても去る七月の定例協議員会での決議の通り、総額約四億円にて令和二年四月一日より開始する旨が県内神社界の総意として御決議頂きました。

本年はいよいよ募財活動実施の年となります。県内神社関係者が心を一つにして無事に事業が完遂出来ますよう引き続き本事業に対し御理解と御協力を宜しくお願い申し上げます。

特集 御大礼



写真提供：宮内庁

高御座と御帳台

長野県神社庁教化講師　山崎洋文

十月二十二日午後一時今上天皇は黄櫨染御袍の御束帯をお召になられ高御座（たかみくら）に昇られ即位をご宣明されました。

この日の午前皇居内の宮中三殿に即位礼正殿の儀を行うことを報告されました。雨のなかではありましたが、帛（しらぎぬ）の御袍白一色の束帯に身を包まれ、静寂のなかにも荘厳なる宮中の様子が国民にしめされたことはまことに恐れ多いことであります。

写真提供：宮内庁

皇居正殿の松の間の中央に据えられた高御座は、『万葉集』に「天つ日嗣（ひつぎ）高御座の業」とあるように天皇の位を示しています。御座の形は四角の壇の上に八角形の壇を置き八角形の屋根を八本の柱で支えています。屋根の上には金色の大鳳凰を、八つの角棟には小鳳凰。大小の鏡・玉・旗・張が装飾されています。内部には何層もの敷物のうえに綿入れの敷物を敷いた厚畳を載せた紫檀の御椅子を奉安してあります。左右には剣璽を置く螺鈿の机が置かれます。御座が八角であるのは、大八州の国土を隅々までしろしめす＝統治することを表していると考えられています。その「座」は皇祖である天照大神の座であり、新天皇はこの座についてはじめてアキツカミトシロシメススメラミコトとなり皇祖神と同じ立場になるのです。日吉大社の御神座が高御座と同じ形式であることからも高御座が神座であることがうかがわれま

写真提供：宮内庁

す。

御帳台は、高御座の向かって右に皇后の座として置かれます。形は高御座と同じですが、装飾は高御座に比べると簡素で規模は一割小さく屋根には鸞鳥（鳳凰より小ぶりな想像上の神鳥）がとまっています。皇后の座が高御座とならんで置かれることは、古くからは天皇が幼帝の時を除きあまりありませんでした。この御帳台につかれたのは昭和天皇の皇后である香淳皇后の時が初めだそうです。

高御座において宣明された陛下のお言葉は、国民の幸せと世界の平和を思う大御心であふれていました。国民という言葉を特別なよみかたをすると「おおみたから」と読みます。それはこの国に住む人々をスメラミコトである天皇陛下が大切に思われているという意味です。それは宣明のなかにも普段のおすがたからも滲みてくるとても暖かな大御心であります。

そのお姿を拝見する多くの人々が、思わず涙を流したり、元気をいただくのは、陛下の祈りのありがたさを実感するからなのです。神代から連綿と続く御代替わりの儀式は天皇スメラミコトのいらっしゃるこの日本に住むしあわせを感じとるよい機会であります。

写真提供：宮内庁

世界各国よりも式典にご参列

天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典

天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典が去る十一月九日皇居前広場にて開催されました。

式典には両陛下にも御臨席頂き奉祝曲「Journey to Harmony」を人気アイドルグループ「嵐」により披露するなど、世代を超えて多くの国民と共にお祝いすることが出来ました。

また天皇陛下よりは国民へのおことばとして、この度の台風における被災地に対して一日も早い復旧を祈られているとのおことばも頂戴し、参加者も各々の立場にて陛下のお言葉に決意を新たに致しました。

二重橋にお出ましの両陛下　提供：奉祝委員会

奉祝の声、晴天の下で響きわたる

～天皇陛下御即位奉祝長野県民大会～

編集委員　若槻徹也

令和元年十一月二十日、まつもと市民芸術館を会場に「天皇陛下御即位奉祝長野県民大会」が県下各地より八〇〇名の参加を得て開催されました。

大会は三部構成で行われ、第一部では天皇陛下御即位奉祝記念映画『第百二十六代天皇陛下御即位をお祝いして』の上映および記念式典を行いました。主催者代表として宇治橋淳長野県神社庁長より「践祚の儀、即位礼正殿の儀、御代一代一度の最も重要な祭祀である大嘗祭など皇位継承の諸事が予定通りに執り行われている。令和の御代が天皇皇后両陛下を中心とした穏やかで平和な世であり、国民一人一人が叡智とたゆみない努力を重ね、国際社会での友好と平和、人類の福祉と繁栄に寄与することを誓う。」との式辞が述べられました。続いてご臨席の来賓からのご祝辞として、本郷一彦長野県議会日本会議議員連盟会長からは「歴代の天皇陛下は世界で王室を継承している約二十八か国の中でも、比較にならぬほど重厚な歴史を刻んでいる。日本文化の基軸が天皇陛下にあり、その豊穣なる文化の上に文明が発展する。皇室の永遠性が担保されるよう国民一同が努力しなければならない。」とのご挨拶を頂戴し、柳澤憲一郎長野県商工会議所連合会副会長からは「天皇陛下が御即位され、新たな時代の幕が開けた。

志賀高原や軽井沢をはじめとする長野県と天皇陛下御一家との浅からぬご縁について思うと、長野県民の一人として至上の誇を覚える。」とのご挨拶を頂戴しました。式典の最後には藤村吉彦奉祝委員会長野県本部副代表の先導により、聖寿を言祝ぎ万歳を奉唱しました。

第二部の記念講演では、米カリフォルニア州弁護士・タレントのケント・ギルバート先生をお迎えし「だから日本はすばらしい―世界があこがれるこの国に暮らして―」と題して講演をしていただきました。

大学では日本語及び日本文学を専攻され、古事記や日本書紀等にも精通されているという先生は、約四十年にわたる日本での生活体験を踏まえ、外国人だからこそ理解し得る日本の素晴らしさについて講演されました。

講演冒頭では我が国の歴史・文明・伝統が、世界にも比類なき長い期間にわたり一貫性を以って維持・継続されてきた点を強調され、そのことがいかに貴重で素晴らしいことであるかを示されました。そして日本の魅力とは真面目、誠実、正直、優しさ…等と表現される我が国の国民性そのものであるとして、東日本大震災時や本年開催されたラグビーワールドカップにおける具体例を挙げながら、海外から高く評価されている様子を紹介されました。

一方で戦後ＧＨＱの施策により自虐史観を植え付けられた日本人の歴史認識に関する問題点を指摘され、占領下で制定された日本国憲法についても、元首を規定しない憲法は法の専門家としての見地からも問題があるとし、日本国及び日本国民統合の象徴とされている天皇陛下については「象徴であり元首であり、常に国民とともにある、といった表現の方がふさわしいのではないか」と述べると会場からは盛大な拍手が送られました。また、天皇陛下の素晴らしさを感じたというエピソードとして一九七五年に昭和天皇が米国を公式訪問された際の出来事が紹介されました。訪問当初はかつての敵国として米国民から敵対視され、決して歓迎の雰囲気ではありませんでしたが、ホワイトハウスでの晩餐会におけるスピーチで「私は貴国訪問を念願にしていましたが、この願いが叶う時には貴国民に伝えたいと考えていたことがあります。それは深く悲しみとする戦争の後、貴国が我が国の再建のために温

かい援助の手を指し延べられたことに対し、貴国民に直接感謝の言葉を申し上げるということです。貴国民の寛容と善意は長く語り継がれることと思います。」と述べられたところ、その後米国民の感情は歓迎に転じたそうです。一度のスピーチにより米国民の感情を敵対から歓迎に転じさせたこの出来事をして、日本の象徴たる天皇陛下のみがなせる業であるとし、その偉大さは国境を越え世界の国々においても認められていることを語られました。

第三部では天皇陛下御即位奉祝行列として大会々場のまつもと市民芸術館から松本城までの約一・二キロメートルにおいて奉祝行列を行いました。

気温は六度と低く、時折冷たい風が吹きつける中ではありましたが、清々しく晴れわたった空の下「奉祝天皇陛下御即位」の横断幕を先頭に数多くの奉祝の懸垂旗を掲げ、参加者一人一人が日の丸を手に練り歩きました。偶然通りかかった外国人観光客らが足を止め奉祝行列にカメラを向ける姿も見受けられました。

参加者からは「御即位をお祝いする場に参加できてうれしい」といった喜びの声も聴かれました。

奉祝行列が松本城に到着すると解散となり、全日程を終了しました。

大勢の県民の方々にご参加いただき、御大典の奉祝にふさわしい盛大な県民大会となりました。

「台風十九号」による被害について

十月十二日、伊豆半島に上陸し関東を縦断した台風十九号は列島各地に甚大な被害をもたらしました。

長野県内でも千曲川堤防が十三日未明決壊し氾濫するなど、広範囲で浸水の被害が生じ、また風倒木など多くの神社が被災しました。

②菱野健功神社（小諸市菱平）
倒木により拝殿損壊

⑮守田神社（長野市穂保）
決壊場所に隣接のため社殿・工作物が流失

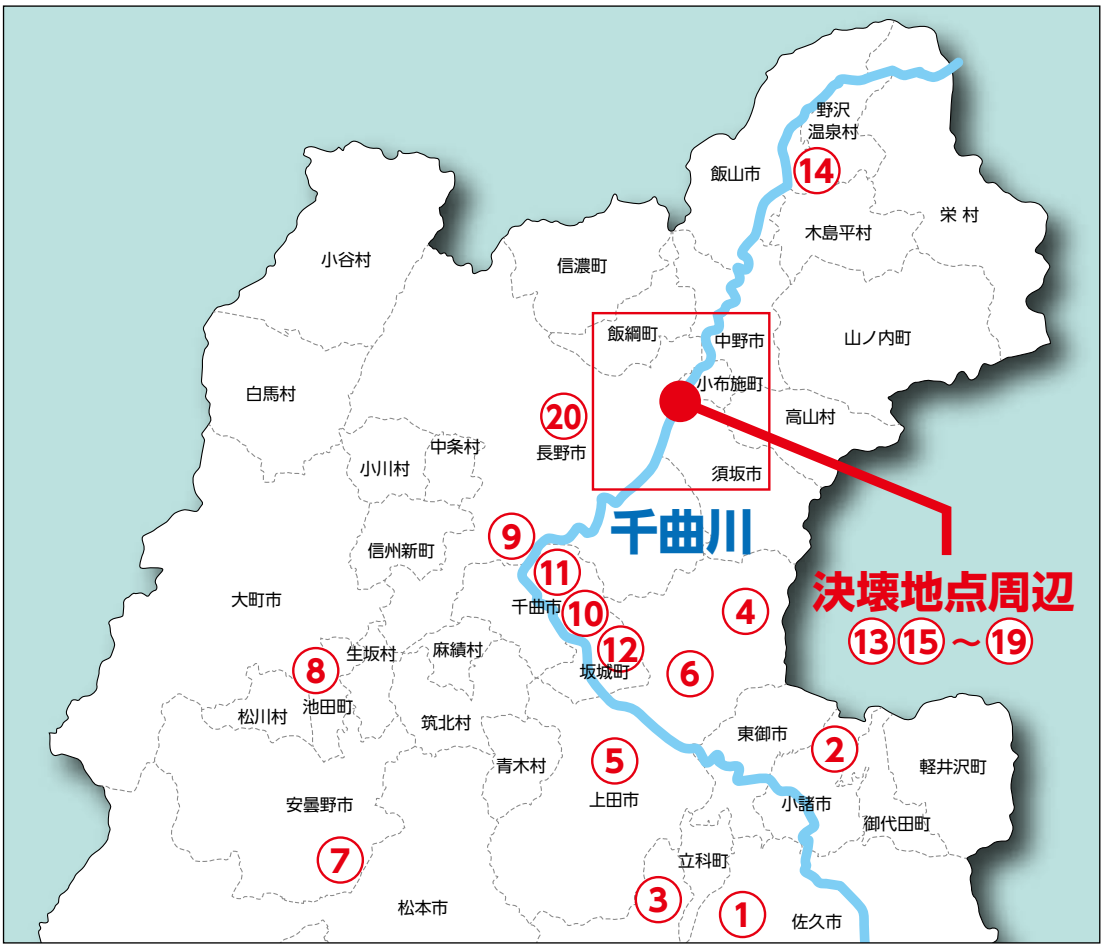
⑨軻良根古神社（長野市篠ノ井塩崎）
隣接の堤防の崩落により境内に浸水被害

⑱八幡神社（長野市津野）
境内及び社殿に大規模浸水被害

⑯大田神社（長野市赤沼）
境内及び社殿内に大規模な浸水被害

台風19号による神社関係被害一覧　（11月末日現在）

番号	支部名	神社名	鎮座地	宮司名	被害状況
1	北佐久支部	菅公神社	佐久市協和	金井重恭	境内土砂崩れにより手水舎・鳥居・境内社が全壊
2	北佐久支部	菱野健功神社	小諸市菱平	中山竜一	倒木により幣殿損壊
3	上 小 支 部	諏訪神社	長和町古町	立岩尊夫	境内立木が倒木
4	上 小 支 部	山家神社	上田市真田町	押森　慎	倒木により摂社損壊及び本殿一部損傷
5	上 小 支 部	八幡社	上田市五加	工藤みず枝	倒木により摂社破損
6	上 小 支 部	二子神社	上田市上田	水科　稔	倒木により境内石祠破損
7	南安曇支部	吉野神社	安曇野市豊科	角田朝寿	倒木により拝殿損壊
8	大 北 支 部	宇佐八幡宮	池田町会染	丸山忠孝	倒木により社務所屋根損傷
9	更 級 支 部	軻良根古神社	長野市篠ノ井塩崎	竹内伸吾	境内隣接の堤防の一部崩落及び社務所床上浸水
10	更 埴 支 部	水上布奈山神社	千曲市戸倉	宮沢春久	倒木2本・社殿床下浸水
11	更 埴 支 部	雨宮坐日吉神社	千曲市雨宮	片岡一仁	倒木4本・境内一部浸水
12	更 埴 支 部	坂城神社	坂城町坂城	片岡一仁	倒木1本
13	上高井支部	大嶋神社	小布施町大島	久保田守彦	千曲川堤防を越水のため社殿床下浸水
14	飯 水 支 部	福島神社	飯山市瑞穂	石川　彰	倒木により拝殿屋根の一部損傷
15	長 野 支 部	守田神社	長野市穂保	太田秀系	境内大規模浸水、社殿及び工作物が流失
16	長 野 支 部	大田神社	長野市赤沼	太田秀系	境内大規模浸水、社殿床上浸水
17	長 野 支 部	伊勢社	長野市赤沼	太田秀系	境内大規模浸水、社殿床上浸水
18	長 野 支 部	八幡神社	長野市津野	太田秀系	境内大規模浸水、社殿床上浸水
19	長 野 支 部	長沼神社	長野市大町	長沼忠行	境内に浸水、宝蔵庫、社務所床上浸水
20	長 野 支 部	宇達神社	長野市宇木	齋藤吉睦	強風により鳥居倒壊



復興へ

～被災地支える～

神社関係者・支援活動

長野県神社庁では、若手神職で組織する神道青年会（神青会）を中心に、長野市内被災地の支援活動を行っています。

神社は公的ボランティアの派遣が無く、また、地域全体が被災しているので氏子さんの手伝いを得る事も出来ません。

水害からの復旧はスピードが必要とされる為、被災五日後の十月 十八日、高圧洗浄機など装備を調え大田神社（長野市赤沼鎮座）で最初の作業を開始。六回の大規模活動に加え、ほぼ毎日支援活動が行われ、県内神職のみならず、災害協定を結ぶ東海地区・北陸地区協議会の神青会員、更に遠く近畿地区からの参加者もあり、十一月二十八日まで、のべ二八五名（県内一六〇名　県外一二五名）が作業に従事しました。

大田神社は北陸新幹線車両基地に近く、二メートル以上の水が押し寄せており、参加者は本殿・拝殿及び境内に溜まった泥を取り除き、水に浸かった神具類を洗浄し、流れ着いた漂着物などの廃棄作業に汗を流しました。

青年神職らの活躍により、十月中に大田神社は概ねの泥が片付けられ、整えられた境内は早速「炊き出し」などの会場となり、地域の人々が集まる場所に戻ることが出来ました。

十一月に入ると、八幡神社、伊勢宮、守田神社（何れも長野市鎮座）などでも作業を展開。特に守田神社は本殿・鳥居を始め諸建造物の殆どが流失しており、被害の大きさに、参加者は言葉を失ったが、近隣神職よりホイールローダーなど重機の提供もあり、黙々と作業を行い、被災地の人々の生活が一日でも早く戻るようにと活動を重ねています。

県内には　被災された神社がまだ多くあるので、神社庁では情報を収集し、継続して支援活動を行う予定。また支援金も募集しています。

大田神社における復興支援活動の様子
拝殿内に侵入した泥の撤去作業

英霊に感謝・平和に決意

～第十九回 靖國神社参拝旅行～

青少年対策推進委員会

長野県神社庁教化部主催の靖國神社参拝旅行は県内中学生・高校生を対象に青少年健全育成事業として毎年行われています。今年は十九回目を数え、七月二十九日・三十日に実施、引率・保護者等を含め総勢五十六名の靖國神社参拝旅行団となりました。

靖國神社は、今年御創立百五十年の節目の年を迎え、その記念事業として四十七都道府県の「さくら陶板」を建立され、長野県の作品を見学しました。拝殿にて修祓を受けた後、本殿にて正式参拝、暫くの間黙想の時間を頂き、御英霊に対する感謝の誠と平和の決意をそれぞれの心に刻み込みました。

遊就館では、靖國神社神職より展示品の説明を受けながら回り、英霊の「みこころ」にふれるゾーンでは時間をとってご英霊の遺影や遺書を各自見学させて頂きました。

翌日、ディズニーランドで楽しい時間を過ごし、無事旅行を終えました。

靖國神社を参拝して感じた事など、参拝した生徒の方に作文にしてもらいました。

「靖國神社で学んだこと」

高校二年生

今回初めて靖國神社に行ってみて、自分が思っている以上に広くて大きく立派な神社だなと思いました。私は靖國神社のことを全然知らなかったので、靖國神社に着く前の事前学習を通して神社の歴史を知りました。そこで靖國神社は戦争で亡くなられた方のご英霊が祀られていることが分かりました。今の日本があるのは戦争で亡くなられた方のおかげでもあるのだなと改めて感じました。

私は学校などでも戦争の学習をしたけれど、戦争はとても危険で怖いもので亡くなる人が多く出る可能性が高いと分かっているのになぜ戦争を行うのかずっと思っていました。ですが、今回の靖國神社での学習から日本という国を救うためには戦争をするしかな

かったということを知り、当時の方々は日本のために自分の命を犠牲にしてまで戦っていたと思うとすごく心が苦しくなるしその方々の勇気はすばらしいものだなと改めて感じました。靖國神社にはそんな歴史があるなんて知らなかったので今回のツアーを通して知ることができて本当によかったなと思いました。

最初は神社のことはなにも知らずあまり歴史について知ろうともしなかった私ですが、これからはもっと神社のことについて学習し靖國神社だけでなくそのほかの神社にもそれぞれ深い歴史があると思うのでその歴史についてもっと知りたいなと思いました。私みたいに神社のことについて知らない方々にも日本を救うために亡くなった方がとても多くいるということを知ってもらいたいし、私自信ももっとくわしく調べ周りの人に教えていけたらいいなと思いました。靖國神社に行くだけでなく、そこで正式参拝というめったにできない経験をすることができ自分にとってもすごくいい体験だったし靖國神社で学んだ歴史を忘れず、今後に生かしていければいいなと思いました。

「靖國神社参拝旅行に参加して」

中学三年生

ぼくは父にさそわれてこの旅行に参加しました。ディズニーランドは夏休みなので混雑すると思いいきたくはありませんでしたが、靖國神社のことは全っく知らなかったので、興味がありました。一人で不安だったけれど参加することにしました。

バスの中の学習では、「伝えようこの日本のあゆみ」と言うＤＶＤを見ました。中学の社会の授業で習った歴史の内容でしたが、授業では言葉を覚えるだけで、その裏にある本当の歴史は教えてくれませんでした。しかしＤＶＤでは、当時の日本人がどのような思いをもって戦争をしていたのかを学ぶことができました。

また、神職の方からの説明を聞いて、さらに靖國神社について、知ることができました。

靖國神社では、正式参拝をしました。普段ぼくたちが住んでいるところの神社にお参りするときは必勝祈願や合格祈願、交通安全・五穀豊穣など、私たちの生活を豊かにすることを願います。しかし靖國神社では国の平安や英霊への感謝の気持ちを込めてお参りしました。いつもとは違った気持ちで初めての体験でした。このような神社があることを初めて知ることができました。

その後、遊就館を見学しました。バスの中でみたＤＶＤ、神職から聞いたお話の内容をよりくわしく知ることができました。

靖國神社参拝を通して学校では教えてくれなかった、本当の日本の歴史を学んだ気がします。学校でもこのように歴史を教えてくれたなら未来がよくなると思います。

今回参加してよかったです。来年もたくさんの中学生が参加することを期たいしています。

神宮大麻頒布始奉告祭斎行

令和元年十月四日、神社庁神殿に於いて神宮大麻頒布始奉告祭を斎行。左記の頒布優秀支部及び優良頒布奉仕者に対する表彰が行われた。（敬称略）

神宮大宮司表彰

頒布優秀支部　長野支部
頒布優良奉仕者
南佐久支部　諏方社上下二座宮司　鷹野　健
上高井支部　小坂神社宮司　片山光一
南安曇支会　諏訪社前宮司　青柳秀和

神社庁長表彰

南佐久支部　荒船山神社祢宜　小間澤貴子
上小支部　國分神社宮司　今井貴美
飯伊支部　八幡社宮司　宇佐美秀臣
南安曇支部　洲波神社宮司　宮澤佳廣
飯水支部　天満社宮司　大澤奉紀

新しく任命された神職を紹介します

新任神職の横顔

益子智仁　二十九歳
八幡宮　権禰宜
松塩筑支部

この度、下生坂八幡宮の権禰宜を拝命いたしました。

此れまで約四年間下生坂八幡宮にて出仕として奉仕させていただいてきました。

長野という豊かな自然に恵まれた土地とより良い共存を目指し、これを子々孫々と受け継いでいくことに日々努めていく所存でございます。

まだ若輩者ではありますが今後とも諸先輩方におきましてはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

寄附者顕彰　令和元年七月～

神社本庁統理感謝状　三百万円以上寄附

支部名	神社名	鎮座地	氏名
上高井支部	越智神社	須坂市	越智神社改修委員会委員長　山岸　威

長野県神社庁長感謝状　三十五万円以上寄附

支部名	神社名	鎮座地	氏名
長野支部	諏訪神社	長野市	八木　静夫
長野支部	諏訪神社	長野市	八木　是清
長野支部	諏訪神社	長野市	八木賢十郎
長野支部	諏訪神社	長野市	八木　和久
更級支部	八幡社	長野市	塚原建設㈱代表取締役社長　塚原昌徳
更級支部	八幡社	長野市	㈱二見屋　代表取締役会長　水沢仁亮
松塩筑支部	東照宮	塩尻市	信州塩嶺高原カントリー株式会社
松塩筑支部	東照宮	塩尻市	日本ハイコム株式会社

辞令　令和元年七月～

神社名	本兼職務	氏名	月日	支部名
名誉宮司称号授与				
八幡社		等々力　満	七・一	南安曇
昇級・神職身分二級				
諏訪神社	宮司	佐々木宗昭	十・一	南佐久
建國神社	宮司	宇治橋邦彦	十・一	松塩筑
和田神社	宮司	森井　仁代	十・一	松塩筑
坂城神社	宮司	片岡　一仁	十・一	更埴
蚊里田八幡宮	宮司	若槻　徹也	十・一	長野
任命				
賀茂神社	兼　宮司	須澤　清昭	七・二十	南安曇
建部社	兼　祢宜	小林まどか	十一・十五	松塩筑
諏訪神社	兼　祢宜	小林まどか	十一・十五	松塩筑
八幡神社	兼　祢宜	小林まどか	十一・十五	松塩筑
續麻神社兼平神社	兼　祢宜	小林まどか	十一・十五	松塩筑
諏訪神社	兼　祢宜	小林まどか	十一・十五	松塩筑
五座神社	兼　祢宜	小林まどか	十一・十五	松塩筑
諏訪社	兼　祢宜	小林まどか	十一・十五	松塩筑
五社	兼　祢宜	小林まどか	十一・十五	松塩筑
本務替				
諏訪神社（賀茂神社より）	宮司	猿田　英里	七・一	南安曇
八幡宮（山ノ神社より）	宮司	益子　光磨	八・十	松塩筑
新任				
八幡宮	祢宜	益子　智仁	七・一	松塩筑
諏訪神社	祢宜	小林まどか	十一・十五	松塩筑
辞職				
賀茂神社	兼　宮司	猿田　英里	六・三十	南安曇

帰幽　謹んで御霊の安らかなることをお祈りいたします

奉務神社	職名	階位・身分	氏名	帰幽日	支部名
高社神社宮司		正階・三級	勝山　昭	九・二	上高井
床尾神社宮司		正階・二級	小林　和雄	十一・十七	松塩筑
正八幡宮宮司		正・二級上	五十嵐文吾	十一・二十	諏訪
諏訪神社宮司		正・二級上	德原　正三	十一・二三	木曽

御造営フォトニュース Photo NEWS

○日方磐神社（上伊那郡飯島町田切鎮座）

宮司　茅野建夫

拝殿改築

事業費　約三七八〇万円

築一五〇年の拝殿は、老朽化に加え祭典参列者の増加による胡床の使用で一層狭隘となり改築について協議を進めておりましたが、より古くて危険で狭い社務所を先行し、平成二十六年に改築、拝殿は続いての事業となりました。

資金や設計素案を検討、位置の移動や床面積を広めたことで支障となる立木を伐採、氏子の要望でこれらも建材として使用し、令和元年九月に竣工致しました。

社務所に続き社殿の改築に御協力ご奉賛を頂きました皆様に感謝と御礼を申し上げます。

○坂城神社（埴科郡坂城町坂城鎮座）

宮司　片岡一仁

奉祝記念事業社務所建替

事業費　約四二〇〇万円

当社は坂城町の旧県社で、昭和十七年に社務所が新築されて以来七十有余年が経ち老朽化が進み、平成二十八年宮司の改築提案を責任役員会で議決し、平成三十年七月から氏子約一、四〇〇世帯及び町内企業約三十社に寄付を募り、目標額を大きく超えて建設を着工することができました。

社務所収容人数は七十名です。令和元年十一月に竣工祭を挙行し今後も境内整備を行う予定です。

坂城町の氏子の皆様の心の拠り所としてまた歴史文化の中心の神社として末長く隆昌と安寧に寄与していく決意を新たにいたしました。

平成30年度長野県神社庁歳入歳出決算書

歳入の部　（単位：円）

款	科目	決算額	前年度予算額	比較増減△	附記説明
1	幣帛幣饌料	749,200	750,000	△800	神社本庁より
2	交付金	100,118,000	100,138,000	△20,000	本庁交付金
3	負担金	33,845,000	34,100,000	△255,000	支部負担金、神社負担金、神職負担金、特別寄贈金
4	協賛金	6,310,000	6,220,000	90,000	特別協賛金、寄付金
5	財産収入	572,500	500,000	72,500	財産利子配当金
6	補助金	120,000	120,000	0	神社本庁より参事給与補助金
7	各種証明料	2,657,400	2,920,000	△262,600	神職任命・登録料、承認料、各種手数料・証明料、階位授与交付金
8	諸収入	3,123,690	2,500,000	623,690	賽物収入、雑収入
9	管理費収入	700,000	700,000	0	庁舎管理費収入、関係団体管理費収入
10	過年度収入	265,000	200,000	65,000	
11	繰入金	2,000,000	2,000,000	0	新庁舎建設予備資金　庁舎管理運営特別資金より繰入
12	繰越金	14,454,539	8,852,000	5,602,539	
	合計	164,915,329	159,000,000	5,915,329	

歳出の部　（単位：円）

款	費目	決算額	前年度予算額	比較増減△	附記説明
1	神宮神徳宣揚費交付金	47,391,842	47,391,842	0	支部を通じて各神社へ
2	幣帛幣饌料	8,269,724	8,700,000	△430,276	別表及特別神社、本務・兼務神社、献幣使参向神社、幣饌料供進神社、献幣使・随員旅費等
3	会議費	4,402,057	4,500,000	△97,943	会議旅費、諸費
4	庁務費	39,071,927	42,220,000	△3,148,073	神事費、儀礼費、役員報酬、諸給与及び福利厚生費、需要費
5	負担金	25,619,160	25,619,160	0	神社本庁へ
6	事業費	15,462,434	16,900,000	△1,437,566	大麻関係費、教化部費、庁報発行費、神社振興対策費、職員研修費、東海五県連合会費等
7	研修諸費	216,717	200,000	16,717	神社庁研修諸費
8	庁舎維持費	442,793	660,000	△217,207	修繕費、設備費、火災保険費
9	交付金	3,209,220	3,400,000	△190,780	神職会、総代会、災害慰藉特別会計各交付金
10	積立金	3,500,000	3,500,000	0	基本金積立金、役職員退職積立金、五県連合総会積立金、神道昂揚資金積立金等
11	補助金	50,000	50,000	0	時局対策費
12	新庁舎建設調査費	422,792	2,000,000	△1,577,208	新庁舎建設特別委員会　会議費・調査諸費等
13	予備費	294,450	3,858,998	△3,564,548	
	合計	148,353,116	159,000,000	△10,646,884	

平成30年度長野県神社庁災害救助慰藉特別会計歳入歳出決算書

歳入の部　（単位：円）

	科目	決算額	予算額	比較増減△	附記説明
1	負担金	3,350,000	3,345,000	5,000	支部負担金、神職掛金
2	災害救助慰藉特別会計交付金	700,000	700,000	0	交付金
3	本庁見舞金	210,000	150,000	60,000	本庁見舞金9件分
4	雑収入	58	1,000	△942	利息
5	繰越金	5,186,794	5,804,000	△617,206	繰越金
	合計	9,446,852	10,000,000	△553,148	

歳出の部　（単位：円）

	費目	決算額	予算額	比較増減△	附記説明
1	災害慰藉費	1,599,560	3,685,000	△2,085,440	神社災害慰藉費、神社総代慰藉費、神職災害慰藉費
2	神職掛金	2,150,000	2,145,000	5,000	神職掛金積立金、神職掛金支払金
3	本庁災害慰藉費	294,450	300,000	△5,550	災害対策資金
4	運営費	1,620	60,000	△58,380	事務費、旅費、雑費
5	予備費	0	3,810,000	△3,810,000	
	合計	4,045,630	10,000,000	△5,954,370	

「歴代の天皇のなさりようを心にとどめ、自己の研鑽に励むとともに、常に国民を思い、国民に寄り添いながら」

左は、昨年５月１日「即位後朝見の儀」において皇位を継承されました今上陛下最初のおことばの一節です。

歴代天皇のなさりようを心にとどめ自己の研鑽に励まれるとのおことばに私達神職にも通じるものがあると感じられた方も多く居られたかと思います。

神社本庁や神社庁では、大切な使命として社会の師表たる神職の研鑽の為に、様々な研修会を年間を通じて開催しています。

御代替りという大きな佳節に改めて自己を見直し積極的に研修会に参加し自己の研鑽に励みましょう。

神社庁教化講師　山崎洋文

謹賀新年

長野県神社庁

長野県神社総代会

神道政治連盟
長野県本部

長野県敬神婦人連合会

長野県神道青年会

長野県女子神職会

長野県教育関係神職協議会

諏訪大社

上田市下之郷中池西七〇一
生島足島神社
宮司　宮川清彦
氏子総代表　松澤繁樹
職員総代一同

戸隠神社
名誉宮司　藤井茂信
宮司　水野邦樹
他　職員一同

穂高神社
名誉宮司　小平弘起
宮司　穂高光雄
職員一同

松本市美須々六番一号
長野縣護國神社
宮司　奥谷一文
他　職員一同

松本市
四柱神社
宮司　宮坂信廣
他　職員一同
http://www.go.tvm.ne.jp/~yohashira

深志神社
宮司　遠藤久芳
他　職員一同

諏訪市茶臼山鎮座
手長神社
宮司　宮坂清

武水別神社
宮司　堀内潔人
他　職員一同

若一王子神社
宮司　竹内直彦
大町市大字大町二〇九七

謹賀新年

木曽総社
御嶽神社
宮司 武居哲也

木曽御嶽王滝
御嶽神社
宮司 滝和人

軽井沢町峠鎮座
熊野皇大神社
宮司 水澤光男
祢宜 水澤貴文
総代会長 土屋一人

飯田市浜井町
破魔射場鎮座
冨士山稲荷神社
宮司 市原貴美雄
職員総代一同

佐久総社
新海三社神社
宮司 井出行則
総代会長 丸山勝雄
佐久市田口鎮座

軽井沢町旧軽井沢鎮座
諏訪神社
宮司 水澤光男
祢宜 水澤貴文
総代会長 大谷次司

軽井沢町中軽井沢鎮座
延喜式内社
長倉神社
宮司 水澤光男
祢宜 水澤貴文
総代会長 土屋斉司

上田市常田鎮座
総社大宮
科野大宮社
宮司 今井正昭
総代会長 宮下憲治

上田市中央北鎮座
眞田三代崇敬社
大星神社
宮司 関口守和
祢宜 工藤康高
総代長 山口好美

飯山市小菅の里鎮座
小菅神社
宮司 鷲尾隆男
総代会長 吉原一男

上伊那郡辰野町
三輪神社
宮司 矢島正稔

上伊那郡飯島町
梅戸神社
宮司 今井泰
祢宜 茅野理也
権祢宜 今井佑

上伊那郡辰野町小野
矢彦神社
宮司 立澤寿江
祢宜 立澤俊輔
総代会長 遠藤守

大御食神社
宮司 白鳥俊明
祢宜 白鳥操子
権祢宜 富岡清彦
総代会長 新井亮男

上伊那郡箕輪町三日町
御射山三社
宮司 唐沢克忠
祢宜 唐沢光忠
総代会長 毛利元次

木曽郡木曽町福島鎮座
水無神社
宮司 宮田利彦
祢宜 宮田伊織

国選定重要建造物群宿場街
中山道奈良井宿
鎮座 鎮神社
宮司 巣山清人
総代会長 篠原幸延

あづみ野
住吉神社
宮司 飯田泰之
氏子総代会長 丸山富生

松本市梓川梓鎮座
大宮熱田神社
宮司 山田充春

上水内郡小川村小根山鎮座
小川神社
宮司 宮下俊樹
祢宜 太田陽一
総代長 西沢哲朗

謹賀新年

七二会鎮座式内社
守田神社
宮司　矢澤龍一
主任総代　酒井健次
会計　吉澤博樹

木曽郡木曽町開田高原西野
八幡宮
宮司　神田肇
祢宜　毛利ゆき乃

長野市箱清水鎮座
湯福神社
宮司　齋藤安彦
祢宜　齋藤英之
権祢宜　齋藤友加里

長野市東町鎮座
武井神社
宮司　齋藤吉睦

長野市松代町鎮座
象山神社
宮司　瀧澤基
祢宜　瀧澤けい子
権祢宜　瀧澤理恵

岡谷市小井川鎮座
小井川賀茂神社
宮司　有賀寛典

飯田市八幡町一九九九
鳩ヶ嶺八幡宮
（重要文化財誉田別尊神像）
宮司　伊原義雄
総代会長　久保田和平

国宝
仁科神明宮
大町市社宮本
宮司　松井秀吾
氏子総代会長　宮崎栄介

伊那市荒井区
荒井神社
宮司　唐沢克忠
祢宜　唐沢光忠
総代会長　鈴木正躬

長野市岩石町鎮座
えびすの神
西宮神社
宮司　丸山肇
役員総代一同

安曇野市穂高有明字宮城
彫刻で名高き裕明門
有明山神社
宮司　山崎佳宏
総代会長　塚田銀稲

箕輪南宮神社
宮司　唐沢克忠
祢宜　唐沢光忠
総代会長　日岐正明
箕輪町大字中箕輪木下一二五〇〇

塩尻市中西條鎮座
三嶽神社
宮司　宇治橋牧子
祢宜　宇治橋克彦
権祢宜　宇治橋邦彦

塩尻市北小野鎮座
小野神社
宮司　宇治橋淳
祢宜　宇治橋邦彦
総代会長　浅田貞一

松本市村井町
神明宮
宮司　永持はな子
祢宜　宇治橋邦彦
権祢宜　小穴真希

伊那市御園区鎮座
白山社
宮司　伊藤光宣

長野市三輪鎮座
美和神社
宮司　齋藤吉睦
権祢宜　矢澤龍一

駒ヶ根市赤穂鎮座
大宮五十鈴神社
宮司　白鳥俊明
祢宜　白鳥操子
http://isuzujinja.com

長野市大町鎮座
長沼神社
宮司　長沼忠行
祢宜　長沼房子
権祢宜　長沼誠一

上伊那郡南箕輪村
殿村八幡宮
宮司　唐沢克忠
祢宜　唐沢光忠
総代会長　山崎一郎

謹賀新年

長野市松代町皆神山
熊野出速雄神社
（皆神神社）
宮司　武藤美登

奥州一之宮鹽竈神社御分社
鹽竈神社
宮司　大澤明三
祢宜　大澤節子
総代会長　青木三治

安曇野市豊科南穂高
洲波神社
宮司　宮澤佳廣

飯山市五束鎮座
（国重文若宮八幡社）
健御名方富命彦神別神社
宮司　髙橋勸
祢宜　髙橋穣
権祢宜　髙橋晶
総代会長　大日向一郎

佐久市臼田鎮座
稲荷神社
宮司　伴野健一
総代会長　久義重

木曽郡南木曽町田立鎮座
県無形民俗文化財花馬祭り
五宮神社
宮司　髙橋邦衛

国選定重要建造物群漆職人街
木曽平沢鎮座
諏訪神社
宮司　巣山清人
総代会長　太田幸日児

東筑摩郡麻績村麻鎮座
重要文化財
麻績神明宮
宮司　山崎洋文
役員会長　若林今朝路

佐久市鎮座
平賀神社
宮司　小間澤肇
祢宜　小間澤貴子
総代会長　高橋登

長野市戸隠鎮座
矢本八幡宮
宮司　宮川和工
祢宜　宮川英士
主任総代　羽田静男

木曽郡上松町
諏訪神社

木曽郡上松町
駒嶽神社

神社庁松塩筑支部
支部長　林邦匡
副支部長　上條哲哉
副支部長　隠岐光洋

千曲市若宮鎮座
佐良志奈神社
宮司　豊城憲和
主任総代　中村安正
外役員一同

大町市常盤西山鎮座
八王子神社
宮司　平林秀文
権祢宜　横澤敬太郎

長野市中条鎮座
式内皇足穂命神社
諏訪社合殿
宮司　宮下俊樹
祢宜　宮川和工
総代長　宮下甲

松本市神林鎮座
神林神社
宮司　宇治橋淳
総代会長　山岸和明

「第25回　子供参宮団」

実施期間　令和2年3月26～27日（1泊2日）

伊勢の神宮とナガシマスパーランドの旅

伊勢の神宮は私たちが生きて行く上で欠かすことのできない、太陽にも例えられる「天照大御神」様をお祀りする内宮と食物を司る「豊受大神」様をお祀りする外宮、全部で125社で成り立っていて、大昔から日本人がとても大切にしてきた尊い神社です。ここでお参りをして舞を見学します。
神宮のすぐおとなり、昔からお参りにきた人をもてなしているおはらい町を散策しよう!
国内最大の遊園地ナガシマスパーランドでは約50種類のアトラクションが待っているよ。

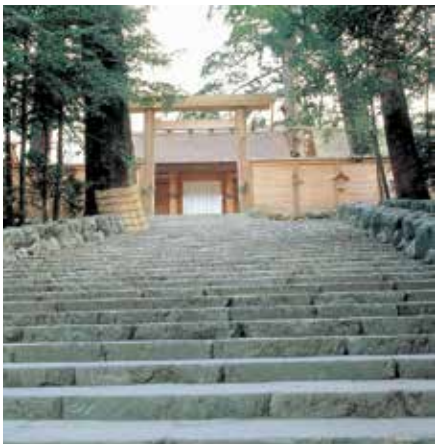
ご家族の皆様へ…

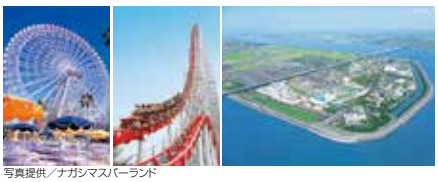
伊勢の神宮は正式名称は単に「神宮」といい、二千余年の歴史と特別な由緒を持つだけでなく、二十年に一度の遷宮を通じ建築物や御神宝などに使われる日本古来の技術や製法を現在、未来へと伝える役割を担う世界的にも希有な場所です。

この旅行では神宮への参拝を通じて、日本人の培ってきた「感謝」と「崇敬」の念を体感し、伝承文化に触れる事を目的としています。特別な許可を得なければ入ることのできない御垣内参拝では正装にて心を引き締めて臨み、御神楽奉納では古来よりの舞を拝観することはお子さまにとっても良い機会になると思います。

全行程に教化部の神職が同行し、楽しく意義ある旅行となるよう努めてまいります。ご友人お誘いあわせの上、春休みの良い思い出作りとしてお気軽にご参加下さい。

春休みの楽しい思い出をつくろう！





写真提供／ナガシマスパーランド

日　程（予定）　参加者には詳細パンフレットをお送りします。

26日	(6:00～8:00)県内各地を出発 13:00　昼食(車内弁当) 13:30　内宮　御垣内特別参拝･御神楽奉納･写真撮影 15:30　おかげ横丁　おはらい町散策　お買い物 17:30　神宮会館 夕食･講話･まとめ･宿泊
27日	6:10　内宮早朝参拝 8:20　神宮会館発 8:40　外宮参拝 11:00　昼食後ナガシマスパーランド(入場) 15:30　帰路 18:30～21:00　長野県内各地に帰着

＊都合により行程が変更になる場合もございます。

《開催日》 令和2年3月26日(木)～27日(金)
《対　　象》 中学生以下(小学3年生以下は保護者同伴にてご参加いただきます)
《募集人員》 120名
《旅行代金》 子供1名　20,000円
同伴保護者1名　22,000円
往復バス代･1泊5食･参拝玉串料･施設入場料など全て含みます。
《食　　事》 朝1回、昼2回、夜2回
《宿　　泊》 神宮会館(伊勢神宮崇敬会が運営するホテルです)
伊勢市宇治中之切町152　電話0596(24)7162
《申込期限》 令和2年2月20日
(定員になり次第締切させていただきますのでお早めにどうぞ)
《申込先》 地元の神職にお申し込み下さい。
尚、集合場所等詳細は令和2年3月10日頃に発送します。

お問い合せ　長野県神社庁教化部　電話 026(232)3355　FAX 026(233)2720